



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月6日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9074 URL <https://www.jot.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 昌一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長兼資産運用部長 (氏名) 松井 克浩 (TEL) 03 (5496) 7671  
四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	25,580	4.3	753	△10.2	997	△0.2	685	1.7
2022年3月期第3四半期	24,535	6.4	839	7.8	998	6.8	673	14.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 779百万円(56.8%) 2022年3月期第3四半期 497百万円(△35.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	207.13	—
2022年3月期第3四半期	203.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	35,871	21,921	61.1
2022年3月期	35,649	21,406	60.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 21,921百万円 2022年3月期 21,406百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	90.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日(2023年2月6日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	35,500	3.6	1,550	6.3	1,700	4.3	1,100	1.0	332.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 詳細は、本日（2023年2月6日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
 （連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
 （注）詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	3,322,935株	2022年3月期	3,322,935株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	15,238株	2022年3月期	15,127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	3,307,771株	2022年3月期3Q	3,307,959株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで社会経済活動の正常化が進みましたが、ロシア・ウクライナ問題の長期化や為替相場の急激な変動の影響もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましては、輸送需要は徐々に回復傾向にあるものの、エネルギー価格や原材料価格の高騰等の影響もあり、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画（2021年度～2023年度）の達成に向け、感染症の予防を図りながら、安全・安定輸送を継続しつつ、基盤事業における収益の維持・確保や生産性向上、海外輸送の収益力の向上、脱炭素社会に向けた輸送需要への対応等に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は25,580百万円（前年同期比4.3%増）となりましたが、燃料費や人件費等の経費が増加したため、営業利益は753百万円（同10.2%減）、経常利益は997百万円（同0.2%減）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等の減少もあり685百万円（同1.7%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### (石油輸送事業)

鉄道輸送において出荷地変更の影響による輸送数量の増加等に加え、自動車輸送における需要の増加等により、売上高およびセグメント利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は11,283百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益は93百万円（同31.8%増）となりました。

#### (高圧ガス輸送事業)

LNG輸送において新規輸送による増加等があったものの、LPG輸送における需要の減少等により、売上高は前年並みの6,315百万円（前年同期比0.2%増）となりました。一方、利益面においては燃料費や人件費等の経費の増加により、68百万円のセグメント損失（前年同期は136百万円のセグメント利益）となりました。

#### (化成品・コンテナ輸送事業)

化成品輸送においては、国内輸送は堅調に推移し前年並みとなりましたが、海外輸送における収益力の向上や円安の影響等もあり、売上高は増加いたしました。

コンテナ輸送においては、自然災害による貨物列車の運休の影響等を受け、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は7,612百万円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益は519百万円（同22.1%増）となりました。

#### (資産運用事業)

不動産賃貸において新規物件の賃貸開始があったものの、太陽光発電における日照不足等の影響を受け、売上高は前年並みの369百万円（前年同期比0.1%増）となりました。また、経費の減少によりセグメント利益は207百万円（同1.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は10,400百万円となり、前連結会計年度末に比べ971百万円増加いたしました。これは現金及び預金とその他に含まれるリース投資資産が増加したことによるものであります。固定資産は25,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ749百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が時価変動により増加したものの、有形固定資産で減価償却が進捗したことによるためであります。

負債は13,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円減少いたしました。これは賞与引当金が支給により減少したことに加え、リース債務の支払いにより減少したことによるためであります。

純資産は21,921百万円となり、前連結会計年度末に比べ514百万円増加いたしました。これは配当金の支払があったものの、時価評価によるその他有価証券評価差額金が増加したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.1ポイント上昇し、61.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、石油輸送事業および化成品輸送事業を中心に売上高が増加するなど、最近の業績動向を踏まえ、若干の上方修正を行います。詳細につきましては、本日（2023年2月6日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,828	5,477
受取手形、売掛金及び契約資産	3,910	3,927
その他	690	995
流動資産合計	9,429	10,400
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	3,506	3,005
コンテナ（純額）	1,951	1,860
土地	5,788	5,725
リース資産（純額）	6,419	6,078
その他（純額）	2,497	2,385
有形固定資産合計	20,163	19,055
無形固定資産		
ソフトウェア	154	132
その他	71	145
無形固定資産合計	226	277
投資その他の資産		
投資有価証券	4,633	4,825
退職給付に係る資産	—	37
その他	1,197	1,276
投資その他の資産合計	5,830	6,138
固定資産合計	26,220	25,470
資産合計	35,649	35,871
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,057	1,984
短期借入金	450	439
未払法人税等	275	215
賞与引当金	788	402
役員賞与引当金	83	65
その他	3,303	3,804
流動負債合計	6,958	6,913
固定負債		
リース債務	4,520	4,190
修繕引当金	290	271
退職給付に係る負債	1,690	1,793
その他	784	782
固定負債合計	7,285	7,037
負債合計	14,243	13,950

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	18,666	19,086
自己株式	△36	△37
株主資本合計	20,581	21,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	904	986
繰延ヘッジ損益	4	△3
退職給付に係る調整累計額	△84	△63
その他の包括利益累計額合計	824	919
純資産合計	21,406	21,921
負債純資産合計	35,649	35,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	24,535	25,580
売上原価	22,137	23,179
売上総利益	2,398	2,400
販売費及び一般管理費	1,558	1,647
営業利益	839	753
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	134	157
固定資産賃貸料	41	40
固定資産売却益	34	53
持分法による投資利益	37	37
雑収入	34	48
営業外収益合計	281	337
営業外費用		
支払利息	59	57
固定資産賃貸費用	13	16
固定資産除売却損	30	10
雑損失	18	9
営業外費用合計	122	93
経常利益	998	997
特別利益		
国庫補助金	—	99
投資有価証券売却益	16	—
特別利益合計	16	99
特別損失		
固定資産圧縮損	—	95
特別損失合計	—	95
税金等調整前四半期純利益	1,015	1,001
法人税等	342	315
四半期純利益	673	685
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	673	685



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	673	685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	80
繰延ヘッジ損益	△0	△8
退職給付に係る調整額	27	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	1
その他の包括利益合計	△175	94
四半期包括利益	497	779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	497	779
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	石油輸送	高压ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	資産運用	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,788	6,300	7,077	368	24,535	—	24,535
セグメント間の内部売上高又は振替高	315	3	69	—	388	△388	—
計	11,104	6,303	7,146	368	24,924	△388	24,535
セグメント利益	71	136	425	205	839	—	839

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	石油輸送	高压ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	資産運用	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,283	6,315	7,612	369	25,580	—	25,580
セグメント間の内部売上高又は振替高	331	3	86	—	420	△420	—
計	11,614	6,318	7,699	369	26,001	△420	25,580
セグメント利益又はセグメント損失(△)	93	△68	519	207	753	—	753

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
該当事項はありません。